IR

第46期第2四半期
営業のご報告

2009年4月1日～9月30日

株式会社あじかん

Business Report

第46期 第2四半期連結累計期間

株式会社 あじかん
代表取締役社長 **足利 政春**（あしかが まさはる）

株主のみなさまへ

減収増益の決算をご報告申しあげます

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。平素はみなさまからの暖かいご支援を賜り厚くお礼申しあげます。当社グループの第46期第2四半期連結会計期間（2009年4月1日から2009年9月30日まで）の営業の概況および決算等についてご報告申しあげます。

ご高承のとおり、当第2四半期連結累計期間（2009年4月1日から2009年9月30日まで）におけるわが国経済は、輸出や個人消費に持ち直しの動きがみられるものの、雇用情勢の悪化や企業収益の減少が続いており、景気は依然として先行き不透明な状況で推移しております。
食品業界におきましても、景気の低迷に伴い、消費者の低価格志向が一段と強まってくる一方で、食の安全性に対する要求も重なり、各社の販売・価格競争が一段と激しさを増す厳しい状況が続いております。

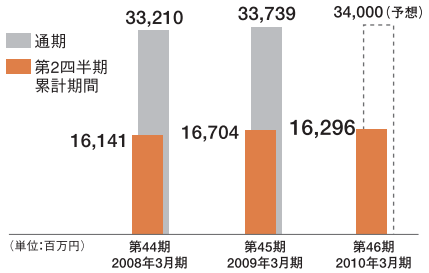
このような状況の中、当社グループは、当連結会計年度よりスタートした第八次中期経営計画に基づき、「自社ブランド品の拡充」「営業基盤の拡充」「社内サプライ・チェーン・マネジメントの確立」「コストダウンの推進」「あじかんブランド品質の向上」などの重点課題に取り組んでおります。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、新製品の投入などにより、自社製品については、味付品や自社企画ブランド品を中心に拡販できたものの、景気の悪化に伴う販売・価格競争の激化や需要の後退の影響で、魚肉すり身製品や冷凍・冷蔵食品を中心とした仕入商品の売上が前年同期を下回り、売上高全体では16,296百万円（前年同期比2.4%減少）となりました。

一方、損益面につきましては、前連結会計年度で大きなコスト増をもたらした鶏卵・魚肉すり身価格の高騰、原油価格の高騰などによる影響が、需給の関係で若干緩和されてきていることや、歩留まりの向上による生産ロスの低減、製造経費・販売管理費面でのコスト抑制を行った結果、営業利益は514百万円（前年同期は営業損失53百万円）となりました。これに、円高の影響によるデリバティブ時価評価損などを加えた経常利益は389百万円（前年同期は経常損失62百万円）となり、四半期純利益は200百万円（前年同期は四半期純損失96百万円）となりました。

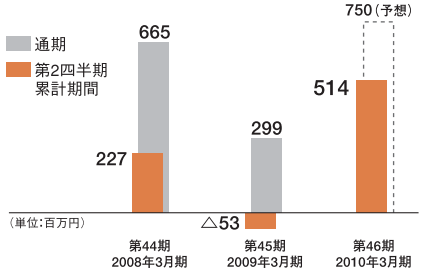
■ 通期業績予想

当第2四半期連結累計期間の業績は、損益面において当初の予想を上回る状況で推移しておりますが、通期の業績予想につきましては、冬場の原材料価格の上昇や原油価格・為替・株価の変動、厳しさを増す販売状況など、下期の業績に与える影響は不透明で流動的な要素が多いことから、当初の予想どおり、売上高34,000百万円、営業利益750百万円、経常利益700百万円、当期純利益380百万円を見込んでおります。

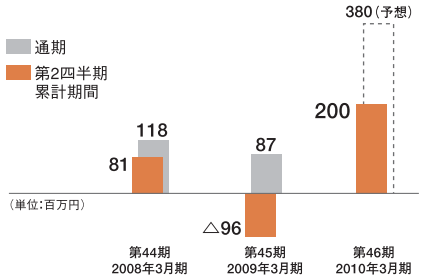
売上高
16,296百万円



営業利益（損失△）
514百万円



当期（四半期）純利益（損失△）
200百万円



■第2四半期　連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期連結会計期間末 2009年9月30日現在	前連結会計年度末 2009年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	8,177 ※1	7,774
現金・預金	1,897	1,455
受取手形・売掛金	3,850	3,787
商品・製品	1,436	1,573
仕掛品	7	5
原材料・貯蔵品	678	728
繰延税金資産	175	135
その他	162	118
貸倒引当金	△ 31	△ 28
固定資産	7,787 ※2	7,863
有形固定資産	5,826	5,898
建物・構築物	1,681	1,752
機械装置・運搬具	950	947
土地	2,957	2,957
リース資産	22	14
その他	214	227
無形固定資産	524	610
リース資産	29	25
ソフトウエア	460	542
その他	34	42
投資その他の資産	1,435	1,354
投資有価証券	510	427
繰延税金資産	107	133
その他	890	853
貸倒引当金	△ 71	△ 59
資産合計	15,964	15,638

科　目	当第2四半期連結会計期間末 2009年9月30日現在	前連結会計年度末 2009年3月31日現在
（負債の部）		
流動負債	6,577 ※3	6,192
支払手形・買掛金	2,631	2,280
短期借入金	2,230	2,630
未払法人税等	227	115
賞与引当金	332	229
役員賞与引当金	8	11
リース債務	197	210
その他	950	715
固定負債	1,390 ※4	1,629
長期借入金	730	895
退職給付引当金	164	185
役員退職慰労引当金	268	261
リース債務	227	286
負債合計	7,968	7,821
（純資産の部）		
株主資本	8,013	7,904
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,098	1,098
利益剰余金	5,871	5,761
自己株式	△ 59	△ 58
評価・換算差額等	△ 17	△ 87
その他有価証券評価差額金	10	△ 12
繰延ヘッジ損益	△ 1	△ 4
為替換算調整勘定	△ 27	△ 70
純資産合計	7,995	7,816
負債及び純資産合計	15,964	15,638

※1 流動資産は、前連結会計年度末に比べ402百万円増加しました。主な増減要因は、現金・預金の増加、受取手形・売掛金の増加、商品・製品の減少などであります。

※2 固定資産は、前連結会計年度末に比べ、76百万円減少しました。これは、投資有価証券の時価評価などによる増加要因もありましたが、減価償却の進行を上回る規模での投資を抑制したことによるものです。

※3 流動負債は、前連結会計年度末に比べ385百万円増加しました。主な増減要因は、原材料の調達などに伴う支払手形・買掛金の増加、賞与引当金の増加、短期借入金の返済による減少などであります。

※4 固定負債は、前連結会計年度末に比べ238百万円減少しました。主な減少要因は、長期借入金の約定返済による減少、リース債務の減少などであります。

■第2四半期　連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	前第2四半期連結累計期間 2008年4月1日～2008年9月30日	当第2四半期連結累計期間 2009年4月1日～2009年9月30日
売上高	16,704	16,296 ※5
売上原価	13,114	12,199
売上総利益	3,589	4,097
販売費及び一般管理費	3,643	3,582
営業利益（△損失）	△ 53	514 ※6
営業外収益	51	27
営業外費用	61	152
経常利益	△ 62	389
特別利益	4	33
特別損失	39	39
税金等調整前四半期純利益（△損失）	△ 98	384
法人税等	△ 2	183
四半期純利益（△損失）	△ 96	200

※5 新製品の投入などにより、自社製品については、味付品や自社企画ブランド品を中心に拡販できたものの、景気悪化に伴う販売・価格競争の激化や需要の後退の影響で、魚肉すり身製品や冷凍・冷蔵食品を中心とした仕入商品の売上が減少し、売上全体では前年同期実績を下回る結果となりました。

※6 営業損益については、前連結会計年度で大きなコスト増をもたらした鶏卵価格や魚肉すり身価格、原油価格の高騰などによる影響が、需要と供給の関係で若干緩和されてきていることや、歩留まりの向上による生産ロスの低減、製造経費・販売管理費面でのコスト抑制を行った結果、前年同期実績を上回ることができました。

■第2四半期　連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	前第2四半期連結累計期間 2008年4月1日～2008年9月30日	当第2四半期連結累計期間 2009年4月1日～2009年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	429	1,406 ※7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 257	△ 181 ※8
財務活動によるキャッシュ・フロー	98	△ 789 ※9
現金及び現金同等物の増加額	270	441
現金及び現金同等物の期首残高	1,385	1,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,656	1,887

※7 営業活動の結果得られた資金は、1,406百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益384百万円に加え、売掛債権・たな卸資産・仕入債務合計の運転資金面での増加466百万円、賞与引当金の増加103百万円や時価評価の影響による通貨スワップ評価損63百万円などが主な要因です。

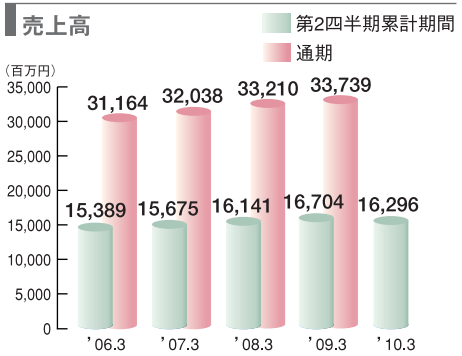
※8 投資活動の結果使用した資金は、181百万円となりました。これは主に生産設備の増強投資やメンテナンス投資、投資有価証券の取得などによるものであります。

※9 財務活動の結果使用した資金は、789百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済400百万円や長期借入金の約定返済165百万円、リース債務の返済108百万円、配当金の支払90百万円などであります。

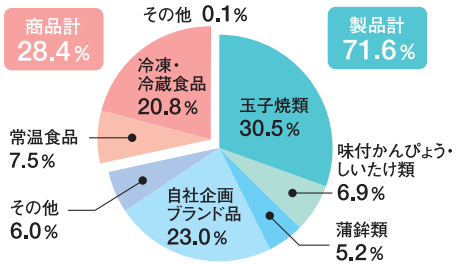
注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結業績の推移

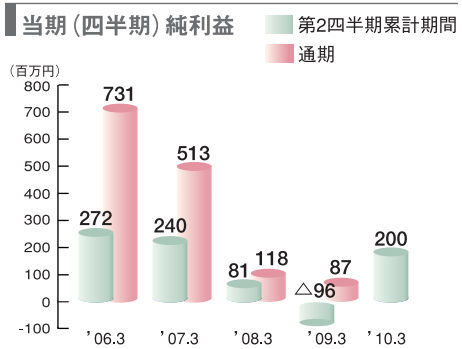
売上高



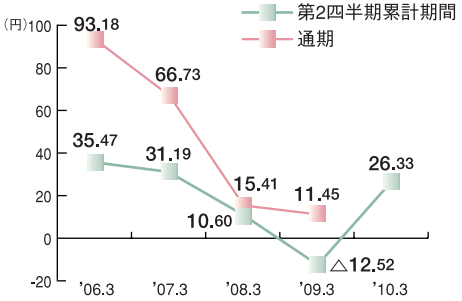
売上構成比（'10年3月期第2四半期累計期間）



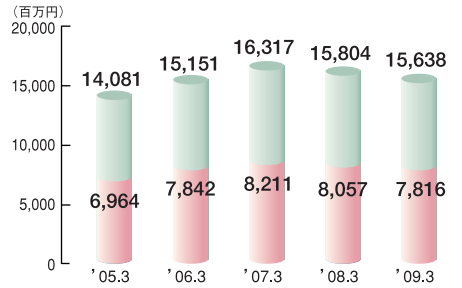
当期（四半期）純利益



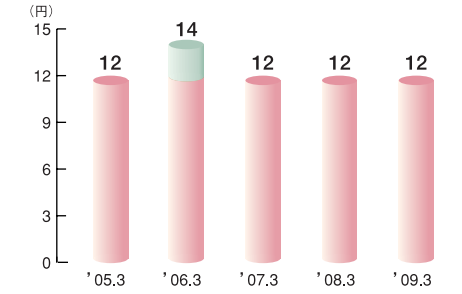
1株あたり当期（四半期）純利益



総資産・純資産



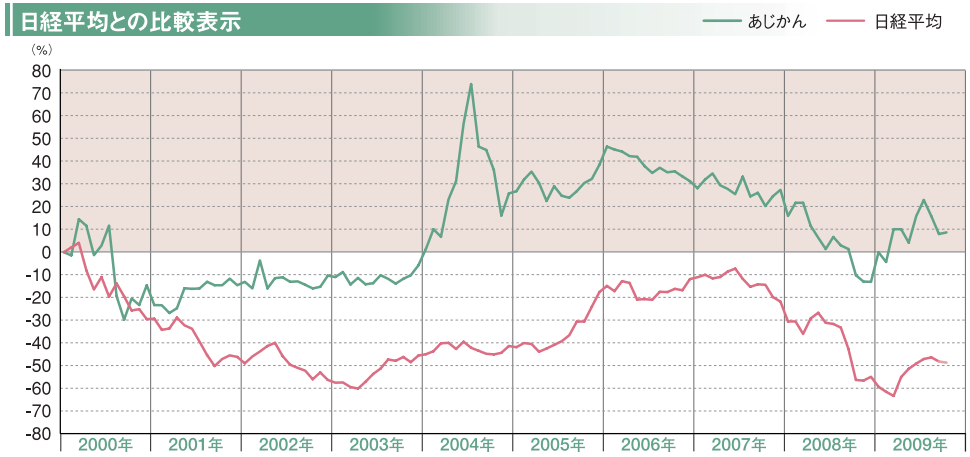
1株あたり配当金



株価・売買高の推移

証券コード：2907

日経平均との比較表示



IR Information

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	（定時株主総会） 3月31日 （期末配当） 3月31日 （中間配当） 9月30日（当期中間配当は未実施）
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〒541-8502　大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東証2部、大証2部

【ご注意】

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他の各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）では、お取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でも、お取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社概要

商号	株式会社あじかん　AHJIKAN CO.,LTD.
設立年月日	1965年3月19日
主要な事業内容	卵の加工製品・水産練製品等惣菜食品の製造 販売業およびその他業務用食品の卸売業

● 小誌についてのご意見は『膳』P.18のお便りコーナーまでお寄せください。●